



福島中だより

令和 6 年 度
福島中学校学校通信
11月25日(月)
第 8 号

【重点教育目標】認め合い、支え合い、未来を切り拓く生徒の育成(2年目)

【学校スローガン】友 ~仲間の絆~

地域と共に子どもを育てる

校長 助川 剛

11月も末になり、朝夕の冷え込みも厳しくなってきました。やっと冬が来るのかなと感じる今日この頃です。

10月から12月は「学習活動の充実」「学習活動の成果を発表し、確認」をする時期となります。

現在は、各教科、教育活動において学習のまとめの発表や成果物の作成をしています。今年度も学校運営協議会(コミュニティ・スクール)と福島アカデミー社会科サークルの授業で地域の方々に授業で取り組んだ成果と提言を発表する機会をつくりました。

10月31日の学校運営協議会(コミュニティ・スクール)では、今年度1年間取り組んできた四箇散米舞、黒米作り、昆布についての学習などの「地域を舞台にした学習」について生徒会役員がプレゼンテーションを行いました。その後の意見交換では、生徒たちから福島町の歴史、昔の遊びの学習、グラウンドの雪を使った交流などの要望が出ました。学校運営協議会で実施方法について検討していくこととなります。

11月27日には町議会議場において本校3年生と福島商業高校1年生合同の福島アカデミー社会科サークルの公開授業が予定されています。「持続可能な福島町に向けて 町づくり提言」としてまとめた内容を産業班、福祉、観光班と3つの分野に分けて発表し、福島町議会議員の方々からご意見をいただくことになっています。

このように学習を通じて身につけた学力等を発表し、意見交流を通じて深め、地域の方々に評価していただける機会があることは、生徒にとってはとても価値のあるものです。本校が「地域と共に子どもを育てる」を実践できているのは、地域の方々の教育への深い理解と厚いご協力があるからです。学校、保護者の連携した教育の中に、地域の教育力と温かい支えがあれば、生徒は精神的に安定し、より力強く成長できます。

これからも本校の社会に開かれた教育課程へのご理解ご協力をお願いいたします。

第4回藝術祭 「フルスロツトル」

今年度は、伝統芸能「四箇散米舞」や保健体育科で取り組んでいるダンスが新たに発表演目に取り入れられました。地域の皆様のお力を借りながら大成功の藝術祭でした。



1 学年生き方学習講話 10月29日

本校の卒業生で、町内で働いている20代の方々から「働くこと」や「中学生へのメッセージ」等の講話をしていただきました。年齢が近い講師のお話から、本校の1年生はたくさんのお話を学び取ることができました。

※講師の皆様

福島町役場 菊地宗也さん
 まちづくり工房 木村誠真さん
 中塚建設 工藤あやかさん



地域との協働を 学校運営協議会と生徒会書記局の交流会

地域を舞台にした学習活動での、学校と地域が連携した取組について、学校運営協議会委員の皆さんと生徒会書記局の生徒たちが意見交換を行いました。今年で2回目の交流会は、生徒が直接地域の方々に意見表明できる貴重な機会です。委員の方からも、ご助言やアドバイスをいただき、有意義な会となりました。



行事予定 (新型コロナウイルス感染症の対応等で変更になる場合があります。)

3日(火) 3学年校外学習(裁判所)	20日(金) 福島商業高校学習成果発表会(3学年参加)
5日(木) 3学年租税教室	25日(水) 冬季休業前全体集会
6日(金) スクールカウンセラー来校日 10:30~14:30	26日(木) 冬季休業 ~1月14日
7日(土) 渡島PTA連合会研究大会北斗大会	29日(日) 学校閉庁日・学校閉鎖 ~1月3日
16日(月) 専門委員会	